

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用定員に対し十分な活動スペースを確保し、密にならないよう活動エリアを分けて安全に過ごせるよう工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童の特性や人数に応じて柔軟に職員配置を調整し、個別支援が行き届く体制を整えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚支援（スケジュール掲示・構造化）を取り入れ、子どもが見通しを持って行動できる環境づくりを行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃・消毒を徹底し、安心して過ごせる清潔で落ち着いた空間づくりを行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンスペースや個別対応スペースを設け、子どもの状態に応じて利用できるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		朝礼・終礼での振り返りを通してPDCAを意識し、全職員が支援改善に関わる体制を整えている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートを定期的を実施し、結果を職員間で共有して改善に活かしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員ミーティングを設け、現場の声を業務改善に反映している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者による外部評価の実施機会が十分ではないため、今後は外部の視点を取り入れる仕組みを整え、評価結果を具体的な業務改善につなげていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		オンライン研修への参加を推進し、専門性向上の機会を確保している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPや事業所での掲載。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントシートや面談を通じて、児童と保護者のニーズを丁寧に把握している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画作成時には職員間でケース会議を行い、多角的に検討している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画を全職員に共有し、統一した支援が行えるようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の観察記録と評価ツールを併用し、児童の状態を継続的に把握している。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づき、本人支援・家族支援・地域連携を意識した計画を作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動内容は職員全体で話し合いながら企画している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事や新しいプログラムを取り入れ、活動のマンネリ化を防いでいる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前にミーティングを行い、役割分担や注意点を共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援後に振り返りを行い、課題や改善点を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録を日々残し、支援の質向上に活用している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		基本活動（生活・遊び・社会性等）を組み合わせた支援を実施している
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		選択活動を取り入れ、自己決定力を育む支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議には児童理解の深い職員が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		医療・教育・福祉機関と連携し、情報共有を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校と連絡を取り合い、送迎や日々の状況を共有している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有の機会が十分ではないため、必要に応じて関係機関との連携体制を整えていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		学校卒業後の移行先への情報提供について、対象となるケースや実施機会が限られているため、今後は移行支援を見据えた情報共有の体制づくりを進めていく必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		地域の児童発達支援センター等から助言や研修を受ける機会が十分ではないため、今後は必要に応じて連携し、専門的な支援力向上につなげていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		放課後児童クラブや児童館、地域のこどもたちとの交流機会が十分に設けられていないため、今後は地域とのつながりを意識した活動機会を検討していく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	（自立支援）協議会等への参加機会が十分ではないため、今後は地域の関係機関との連携を深めるためにも、参加体制を整えていく必要がある。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の様子を連絡帳や口頭で共有し、共通理解を図っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		家庭での関わり方について助言や情報提供を行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧な説明を行い、理解を得ている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		計画作成時に保護者の意向をしっかりと確認している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画の説明と同意を確実にしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談対応を随時行い、必要に応じて面談を実施している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		保護者同士の交流の場づくりを検討・実施している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応体制を整備し、迅速に対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		お便りやSNS等で情報発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報は厳重に管理している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚支援や分かりやすい説明で意思疎通を図っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		夏祭りの実施など地域に開かれた事業所運営を心がけている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCPを策定し、災害時の対応体制を整えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		健康状態や服薬情報を事前に把握している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー対応を徹底し、安全に配慮している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、研修や点検を実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全に関する取り組みを保護者へ周知している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを共有し、再発防止に努めている。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を実施し、意識向上を図っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束については必要最小限とし、事前説明と同意を徹底している。